

鳥取・岡山両県知事会議

鳥取県スライド集

- ① 移住定住の促進
- ② 里山活性化の推進（実践者の出会いの場）
- ③ 「とっとり・おかやま新橋館」での連携について
- ④ EVドライブ観光の促進とEV普及促進について
- ⑤ 「鳥取・岡山広域観光協議会」における取り組み
- ⑥ 海外誘客における取り組み
- ⑦ 高速道路ネットワーク等の整備促進
- ⑧ 危険ドラッグ対策について
- ⑨ 「あいサポート運動」への共同参画

① 移住定住の促進

○全国各自治体が移住の取組を強化する中、鳥取・岡山両県が移住先として選ばれるため、**両県が東になり“西日本”“東中国”での暮らしの魅力**を情報発信する。

- ・対象 両県に目が向いていない都市住民
- ・期待する効果 連携による相乗効果 → 両県に目が向く都市住民の増 → 移住定住者の増

<例①> 移住相談会・セミナーの継続開催

今月末に開催する相談会・セミナー

TURNNS × 鳥取県 地方暮らしフェア in とっとり・おかやま新橋館

地方暮らしに関心のある方を対象に、移住相談会と地方での「子育て」「しごと」をテーマにし、セミナー「TURNScafe」を開催します。ご興味のある方はぜひこの機会にご参加ください。

開催日 平成27年1月31日(土)

会場 アンテナショップ
「とっとり・おかやま新橋館」2階
【所在地】東京都港区新橋1-11-7

この機会に
ぜひ!

たくさん先輩移住者に相談できます!!
鳥取県内の市町村担当者、岡山県担当者に相談できます!!
お子様連れ歓迎!! 託児スタッフをご利用できます。



<例②> 地方暮らし魅力発見ツアーの実施

鳥取空港

鳥取県の特徴ある子育て環境
(例) 森のようちえん 体験入園



岡山県の特徴ある起業環境
(例) 森の学校 見学



岡山空港

②里山活性化の推進（実践者の出会いの場）

＜提案＞

両県の里山活性化のモデル実践者が事例発表、意見交換を行う出会いの場を相互に設定



里山資本主義フォーラム in 日南(H26.11.15)



＜参加者の声＞

- ・里山を活用した取組を実践したい
- ・里山の自然と共存して心豊かに生きていきたい
- ・里山活性化モデルの実践者、他県の具体的な事例の話を知りたい

③鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」

<平成26年9月28日(日)オープン>

岡山県と連携し、相乗効果を狙う！—地方創生の鍵—

- 情報発信—連携による注目度・魅力度アップ
- 販路開拓—首都圏事業者へ食材・加工品等を紹介
- 認知度向上—催事スペースの有効活用

※入館者数:オープン3か月で約15万人

ニックネームは
「ももてなし」



<1階 物販店舗>
週末には2,000人前後の人が訪れます



<観光・移住コーナー> 観光や移住などに関する相談に対応します。開架したパンフレットは好評。



<オープン日9/28> 入店を待つお客様



<両県プロモーションゾーン> 県内事業者による活用—消費者の声を参考にします—



<2階 催事スペース>
11/5 ウェルカニキャンペーン



11/7 ももてなし試食会—カニ汁(鳥取)やぶどう(岡山)など両県の特産品を提供—

④鳥取岡山EV・PHV普及促進プロジェクト

- エコツーリズムやグリーンツーリズムなど環境に配慮した観光客の受入体制の整備に併せて、e-モビリティ等の普及促進を図り、**電欠の不安を感じないインフラ整備**を目指す。
- 鳥取県に配備されている充電器は計110基。うち**急速充電器は、人口比で全国トップ**。
[充電インフラ整備ビジョン2020年目標値:527基 ⇒ 114基(2014年11月末現在)] ※急速充電:41基
- 鳥取・岡山**両県連携による「中国横断EVエコドライブ・グランプリ」**開催により、県内外に**両県の優れたEV走行環境をアピール**するとともに、**自然環境・観光資源を情報発信**する。

中国横断EVエコドライブ・グランプリ

[日時] 10月12日(日)9:00~
[参加者] 両県合わせて合計40組(約120名)

- 参加者が充電しながら観光地をエコドライブ
- 電費と観光地の立ち寄り数で上位入賞者を表彰

両県の観光誘客促進に向けEV走行環境をPR



蒜山大山EV・PHVエコドライブ・グランプリ

- 全長約100^{km}程度の周回コースに変更
- 参加車両に、EVに加え、PHVを対象に追加。
- EVは電費、PHVは燃費を競うエコドライブイベント。

(コース例)



周回約100^{km}



⑤ 「鳥取・岡山広域観光協議会」における取り組み

「大山開山1300年」→両県で連携した取り組みを検討

大山



歴史・自然の魅力

「エコツーリズム」

豊かな自然環境、歴史文化遺産、食材など、両県の地域資源を活かしたプログラムを通して両県の魅力をより深く観光客に伝える、エコツーリズムの推進。

「牛馬市」

「大山牛馬市」は日本三大牛馬市の一つとされ、岡山県北部からも参加者がいたほか、最盛期には2万頭の取引を行い日本最大といわれている。



大山寺博労市図
広重画
(鳥取県立博物館所蔵)

蒜山



< 連携した取組例 >

「とっとり・おかやま新橋館」・
「高速道路サービスエリア」を活用



「エコツーリズム」の展開



「鳥取・岡山ドライブマップ」の作成・
「両県観光連盟ポータルサイト」を活用



⑥海外誘客における取り組み

JR山陰・岡山エリアパス、山陽・山陰エリアパス

2014年5月登場！
期間限定！

松江（出雲）・石見・米子・鳥取・岡山・倉敷可無制限搭乗！

山陰&岡山地区鐵路周遊券

(商品名稱：San'in & Okayama Area Pass)

島根地区 + 鳥取地区 + 岡山地区 = 3天內可無限制搭乗 4,110日元(兒童2,050日元)

2014年5月1日發售開始！
●利用期限：至2015年3月31日止 ●發售/兌換期限：2015年3月29日止
下列地區內的特快列車及快速、普通列車自由席可無限制搭乗！

周遊券特有的優惠眾多！

★ 鳥取觀光船・雲龍橋
※ 日本郵船株式會社船隻可搭
大船或「船大船定航線船隻」
(無休航線)

1 石見銀山 世界遺產
日本代表性地質遺跡。其地質構造可謂不尋常。山崩、地震及地層隆起，均與地質構造有關。日本第一座地質公園。

2 出雲大社
日本最古老的神社，也是日本最大規模的神社。正殿供奉神靈。其建築形式，展現了日本建築之美。

3 水木茂之路
從鳥取縣倉吉市水木茂的故鄉，沿著水木茂的足跡，在15公里的行程中，可以感受到水木茂的創作靈感。設有水木茂紀念館、水木茂紀念公園、水木茂紀念館、水木茂紀念公園、水木茂紀念館、水木茂紀念公園。

4 鳥取砂丘
廣闊的砂丘景觀，是鳥取縣的象徵。砂丘的起伏，是大自然的傑作。在砂丘上，您可以感受到大自然的偉大。

5 倉敷美觀地區
擁有豐富的金箔、漆器、和服、茶室、日本酒、和菓子、和紙、和傘、和紙、和傘、和紙、和傘。

6 岡山後樂園
出雲大社第一、岡山後樂園。岡山後樂園，是岡山縣的象徵。其建築形式，展現了日本建築之美。

搭配「關西廣域鐵路周遊券」(4天內7,200日元)使用，
享樂西日本的廣域旅行！

請訪問網站！ <http://www.westjr.co.jp/global/tc/>

○岡山空港⇒山陰 及び 米子空港／境港⇒岡山の外国人周遊旅行を誘発

- 平成27年3月末まで発売される「JR山陰岡山エリアパス」では、山陰本線・境線・木次線と伯備線のJR特急列車等に、3日間乗り放題(4,110円)
- 平成27年3月発売開始の「JR山陽山陰エリアパス」では関西エリア・中国5県及び高松間の山陽新幹線・特急列車(智頭急行を含む)等に7日間乗り放題(国外購入19,000円、国内購入20,000円)

タイ向けの岡山県との連携事業

H26

- 旅行社招請
(1月下旬～2月上旬 鳥取・島根・岡山連携VJ事業)
- 旅行博出展
タイ国際旅行博(TITF)2015
(2015年2月25日～3月1日 鳥取・岡山連携事業)

H27

- 旅行社招請
(5月頃 鳥取・島根・岡山連携VJ事業)



⑦岡山・鳥取 高規格幹線道路図



凡例	
	開通区間(有料)
	開通区間(無料)
	26~27年度開通予定区間
	事業中区間
	未着手区間

⑧危険ドラッグ撲滅への規制・気運醸成（鳥取県）

サイバーチェックによる 薬物指定等

- ・知事指定薬物（4物質）
- ・知事指定候補薬物（52製品）



広報・啓発の強化

～「危険ドラッグは違法」メッセージ
の発信～

- ・県政広報を活用した各種啓発
（県政TV番組、スポットCMほか）
- ・啓発チラシの配布
- ・危険ドラッグ撲滅スローガン（標語）の募集
- ・オリジナル啓発DVDの制作
→自動車教習所、免許センター等での活用へ

監視パトロールの実施

雑貨店、レンタルビデオ店、アダルトショップ、ラブホテル、ネットカフェ、カラオケ店など。

（警察と合同、又は危険ドラッグ対策専門員（県警OB）を中心に）

周辺府県との連携

～広域的な規制強化・連携による危険ドラッグの流入阻止～

- ・関西広域連合における取組
→国への提言、府県民へのアピール、指定薬物等検出製品の情報共有、合同研修会の実施等
- ・中国地方知事会における取組
→国への共同アピール実施
- ・兵庫・鳥取両県の連携
→条例の規制内容の情報共有等

⑨ 「あいサポート運動」への共同参画

あいサポート運動とは(平成21年11月に鳥取県でスタート) ～障がいを知り、共に生きる～

多様な障がいの特性、困っていること、必要な配慮などを理解し、障がいのある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践し、障がいのある方が暮らしやすい地域社会(共生社会)を県民とともに作る運動

DVDや小冊子を使用し、障がいについて、

- ①「その内容や特性」、
 - ②「障がいのある方が日常生活で困っていること」、
 - ③「ちょっとした手助けや配慮の方法」の三つを知ってもらい、実践していただく、あいサポーターを養成。
- ※研修時には、日常で使う簡単な手話も学びます。



あいサポートバッジ



D 障
V が
D とい
と い
小 理
冊 解
子



5年間運動を推進

他県等との連携

島根県
(H23.3.14)



広島県
(H23.12.11)



長野県
(H25.7.1)



奈良県
(H25.8.6)



韓国江原道
(H26.10.4)



埼玉県富士見市・
三芳町(H26.10.16)



あいサポーター数: 236, 640人 / 研修実施回数: 2, 114 回 / 企業・団体認定数: 845企業・団体 (H26.11月末)

【他県等と連携するメリット】(共生社会実現は障がい者施策の共通の目標)

- 同じマークや理念を共通することで県民に対し、わかりやすく、メッセージ性のある施策となっていく。
- 障がい理解施策の一つのツールとして連携することで、これまで取り組んできた普及啓発の広がりを期待。
- 平成28年4月施行の障害者差別解消法の推進メニューの一つとして取り組むことで共生社会実現に寄与。

【今後の他県等との連携状況】

- 山口県があいサポート運動推進のための経費を平成27年度当初予算要求中
- 埼玉県和光市では「和光市障害者計画」にあいサポーター等の導入を明記し、連携に向け準備中
- 埼玉県秩父市では、秩父市障がい者福祉計画に、あいサポート運動の推進を盛り込む予定
また、秩父圏域の1市4町(横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町)に対し秩父地域一体での取組を提案中